



## 地域のために

コミュニティ・スクール（CS）の活動の一翼を担う「地域貢献」は、CSが企画した活動に限定されるわけではありません。7月5日には保護司会からの要請を受け、生徒会執行部が「社会を明るくする運動」に参加しました（写真中央。この運動は法務省が中心となり、「おかえり」をキーワードに地域の力で犯罪や非行を防いでいこうと呼びかけているものです）。また、前号でお知らせした生徒会による地域清掃活動も、この日に重ねて実施してくれました（写真左。右の写真は6月に予定していた東寺・西寺区の清掃活動を雨天のために学校周辺に切り替えた時のもの）。

暑い、休みたい、部活に行きたい……そんな思いと葛藤しつつ、地域のために活動する石中生、がんばってます!! 各区の夏まつり等への参加も例年より増えています!



## 地域とともに

その数を示したのが下の表です。区の役員をしておられるみなさんにとっては「それほど多くないんじゃないの?」とお感じになったかもしれませんが、一昨年は30名、昨年度は42名、そして今年度は56名と、着実にその数を伸ばしてきています。やがて石部の町を担ってくれる若者を叱咤激励しつつ、温かく迎えてやっていただければと思います（石部南小の学習教室にものべ10名が参加します）。

石部東 8. 21 日	石部中央 7. 23 土	岡 出 8. 20 土	石部西 8. 21 日	宝来坂 8. 20 土	宮の森 8. 20 土	石部南 7. 30 土	西寺丸山 7. 20 水	東 寺 8. 20 土
9	3	4	7	6	10	11	1	5

## 地域への、もうひとつの発信

図書委員会が取り組んできた「オビコン（=本の帯コンテスト）」の作品に対して投票が行われ、次の人たち（敬称略）の作品が展示されることになりました。どんな作品かは見てのお楽しみ。

市内4中学校の作品が並んでいますので、どうぞご覧いただきたいと思います。

展示は、甲西図書館：7.29～8.21、☆印はTSUTAYA甲西店：9.5～9.26 でも。（石部図書館：10月上旬予定）

## 入試が変わる!!

本校で6月29日に開催した「親子進路学習会」の後、県教育委員会から「次の入試から『スポーツ・文化芸術推薦選抜』を実施する」との連絡がありました。対象となるのは、「平成29年3月に中学校等を卒業し、または修了する見込みの者で、志願する動機が明白であり、出願先高等学校が示す推薦要件を満たし、適性、興味・関心および学習意欲を有する者のうち、中学校長の推薦を受けた者」とされています。初年度に募集があるのは、河瀬高校（吹奏楽 5名以内）、



彦根翔西館高校（陸上競技 男女10名以内）、虎姫高校（英会話 5名以内）、長浜北星高校（水球 男子4名以内）、八幡工業高校（剣道 男子5名以内）、草津東高校（剣道 男女各3名以内、陸上競技 男女7名以内、サッカー 男子7名以内）、栗東高校（体操 男女2名以内、レスリング 男女2名以内、ソフトボール 男子2名以内、美術・工芸 3名以内）、水口高校（ライフル射撃 男女2名以内）、信楽高校（美術・工芸 5名以内）、野洲高校（サッカー 男子10名以内）、八日市南高校（カヌー 男女3名以内）、伊吹高校（ホッケー 男女各5名以内）、日野高校（レスリング 男女5名以内）の、計13校に及びます。（詳しくは県教育委員会のHPをご覧ください）

これは、平成36年に開催される第79回国体を意識していることあるのでしょうか、多分に受検生（県立高校入試は、「学力検査」を受ける者という意味から『検』の文字を使います）の優れた特質を評価しようという思いから発案されたものだと思います。したがって、今後、一人ひとりが自分をよく知り、自分のよさを伸ばしていこうとする努力がひととき大切になってくることでしょう。ただ、この制度について言えば中学校長の推薦が条件となっています。自分の好き（得意）なことだけに力を入れていけばよいというものではなく、仲間とともに学校生活をよりよいものにしていこうとする気持ちや努力を大切にしてほしいと思います。

また、学力検査についても大きく変わってきています。1教科の時間が40分から50分に、問題用紙がA3サイズ2枚からA4サイズ8ページ建て（A3二枚重ね・両面刷り・二つ折り）になって、2年が経過しました。このことは、問題量が増える（国語で言えば、問題文が長くなるという変化も見られる）、問題の質が変わるといった違いとして表れてきています。例えば、これまでは知識として知っている言葉を答えればよかった問いが、なぜそうなるのかを論理的に説明したり、根拠を示しながら自分の考えを述べたりする問いに変わってきたと言えるのでしょうか。

今春行われた入試に対し、次のような総括が行われています。「文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりする問題、文章を読んで自分の意見を持ち、根拠を明確にして表現する問題については正答率が低かった（国語）」「2つの数量の関係や図形の性質について、見通しをもって説明する力が十分身に付いていない（数学）」「複数の資料を活用して、多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、適切に表現する力をみる……力が十分に身に付いていない（社会）」などなど。あなたはどうか？

本校の定期テストの問題もしかり。これからもこういう問題が出題されるでしょうが、さて、夏休みの学習方法は、今までどおりでよろしいか？

【1年・技術】技術分野の学習内容より、3年後にできるようになっていたいことを、下記の4つのキーワードからいずれか1つを使用し、25文字以上の文章で具体的に答えなさい。（以下省略）

【2年・保健】下水道を使用している地域で、地震により下水道が壊れたら、人々の健康や環境にはどのような影響がでると思いますか。考えて書きなさい。

【3年・英語】5つのR（説明省略）のどれか一つ以上を使い、あなたのできる地球に優しい取組を3文以上で書きなさい。本文にある文と同じ文は、3文の中に含みません。（校長）